

平成23年度「経営の目指すもの」概要

～ エネルギーに関するあらゆるニーズにお応えし、成長し続ける企業グループ ～

添付資料 1

東日本大震災の被災地の復旧・復興に向けた支援、ならびに原子力発電の安全性の確保をはじめとする大規模災害対策を最優先とした上で、2030年に私たちが目指す姿として策定した「経営ビジョン2030」の実現に向けた取り組みを着実に進めていきます。

■ 大規模地震対策をはじめとした弊社の災害対策（冊子P.2～5参照）

- ・電力供給設備に対する耐震裕度向上対策
- ・浜岡原子力発電所における浸水に対するさらなる裕度向上対策、非常事態を想定した対策
- ・電力会社間相互応援能力の強化（周波数変換装置の変換能力の向上等）
- ・危機管理体制の強化

■ 経営ビジョン2030「目指す姿」（冊子P.6参照）

「エネルギーに関するあらゆるニーズにお応えし、成長し続ける企業グループ」

- 「エネルギーに関するあらゆるニーズにお応えする」ことを基本として、お客さまとともに最適なエネルギー利用を追求することで、お客さまに選んでいただける「エネルギーサービス No.1 企業グループ」を目指します。
- 持続的な成長を確かなものとするため、これまで国内電気事業で培った経営資源・ノウハウを活用し、海外での事業展開などに挑戦することで、新たな企業価値を創出していきます。

■ 中期的な施策

ミッション1 低炭素で良質なエネルギーの安価で安定的なお届け（冊子P.8～17参照）

安全確保を最優先に、低炭素で良質な電力の安定供給を実現していきます。

浜岡原子力発電所については、これまでも地震や津波に対する安全性を確認していますが、経済産業大臣から指示のあった緊急安全対策をただちに実施するとともに、安全性をより一層高めるため、津波の発電所構内への浸入防止や電源確保などのためのさらなる対策をすみやかに実施していきます。さらに、福島第一原子力発電所などの情報収集にも努め、得られた新たな知見に対して適切に対応していきます。今後とも、地域の皆さまをはじめ広く国民の皆さまからのご理解を前提に、安定供給や地球環境保全の面で優れた電源である原子力発電を推進していきます。

火力発電所や流通設備などについても、耐震裕度向上工事を着実に進めていくとともに、燃料の調達先・調達方法の多様化、LNGタンクの増設やガスパイプラインの敷設などのインフラの整備を進めていきます。

さらに、非常災害時の危機管理体制の強化など、事業運営全般において、安全・安定的な電力供給のための体制づくりに取り組んでいきます。

また、地球環境保全の観点から、グループ会社と一体となり、風力発電、太陽光発電、水力発電、バイオマス発電など、再生可能エネルギーの導入拡大に取り組んでいきます。

○3E（供給安定性、環境性、経済性）を同時に達成する電源設備形成・運用

- ・安全の確保を最優先とした原子力発電への取り組み
- ・再生可能エネルギーの推進
 - 風力発電の開発
（御前崎風力発電所、青山高原ウインドファーム増設等）
 - メガソーラーの開発
（メガソーラーいいだ、メガソーラーたけとよ、メガソーラーしみず）
 - バイオマス発電の実施
（碧南火力における木質バイオマス燃料の混焼等）
 - 水力発電の開発
（徳山水力、維持流量発電新規2地点）
- ・化石エネルギー利用における効率性・安定性・環境性の向上
 - 高効率火力の導入
（上越火力、西名古屋火力7号系列）
 - 燃料関係インフラの充実
（LNG受入栈橋の増強、LNGタンクの増設、パイプラインの敷設）
 - 燃料調達における安定性・経済性・柔軟性の向上
（上流権益の取得、トレーディング等）



御前崎風力発電所



メガソーラーいいだ

○信頼度確保を前提とした合理的な流通設備形成

- ・高品質な電気の安定的な供給、高経年化対策の実施
- ・次世代電力ネットワークの構築に向けた取り組み（配電設備の高機能化等）

ミッション2 「エネルギーサービス No.1 企業グループ」の実現（冊子P.18～21参照）

お客さまとともに最適なエネルギー利用を実現していくため、引き続きお客さまの多様なニーズにお応えしていきます。ご家庭向けにおいては、省エネ性の高いエコキュートを中心とするオール電化を提案するなど、電気ならではのサービスをご提供していきます。ビジネス向けにおいては、省エネ・省CO₂やコスト削減など、お客さまが抱える課題の解決に向けて、電気やガスなどの最適な組み合わせや効率的な運用方法など、総合的なエネルギーソリューションサービスをご提供していきます。

○ご家庭のお客さまへの新たなライフスタイルの提案

- ・電気ならではの良さを体感していただけるようお客さまのニーズに「one to one」で対応
- ・地域の販売店様・工務店様やグループ会社と一体となった提案
- ・マンション・賃貸アパート物件の電化提案（ニーズに合った「プラスワンの設備」提案）

○ビジネスのお客さまへのエネルギーソリューションの提案

- ・省エネ・省CO₂や、コスト削減につながるエネルギーの最適な組み合わせや効率的な運用方法、熱源システムの提案
（E空調（電気空調システム）、E給湯（電気給湯システム）、E厨房（電化厨房システム）、E工場（生産プロセス電化システム））
- ・上越LNG出荷基地も活用した3基地の一体的な運用による燃料転換（重油からガス・LNG）ニーズに対する着実なお応え
- ・オンサイトエネルギーサービス・ESCO事業を通じたトータルサービスの提供



3基地の一体的な運用

ミッション3 積極的な海外展開による収益の拡大（冊子P.22～23参照）

海外への事業展開については、国内事業で培ったノウハウなどの経営資源を活用し、火力発電や再生可能エネルギー発電、コンサルティングなどのエネルギー事業を着実に展開していきます。こうした海外エネルギー事業を通じて、技術力やブランド力などの向上を図ることにより、経営基盤を強化し、国内のエネルギーサービスをさらに充実させていきます。

- ・火力発電事業への継続的な参画
- ・再生可能エネルギー発電事業への参画推進
- ・コンサルティング事業、交流・協力活動の継続

ミッション4 成長を実現する事業基盤の確立（冊子P.24～29参照）

お客さまや社会からの信頼こそが事業運営の基盤であることを肝に銘じ、コンプライアンス経営を徹底するとともに、皆さまに「安心」をお届けする良き企業市民としての社会的責任（CSR）の完遂に努めていきます。

- ・グループ全体のコンプライアンス確立に向けた取り組み
- ・グループ経営管理・内部監査の充実
- ・技術力の維持・継承、成長事業を支える「人財」の確保・育成
- ・ステークホルダーとのコミュニケーションの充実
- ・ミッションの推進を支援する技術研究開発

以上